

この街でいつまでも

(第2部)

身近な地震対策工事と実例

平成7年阪神淡路大震災



所どころにダメージの少ない家屋がある

平成23年3月東日本震災（23年6月撮影）



津波の来ない家屋にはほとんどダメージが無い。

私の住まい大丈夫なの？



昭和56年6月以降に建てられた建物は比較的安全
→ **新耐震基準**

昭和53年の宮城県沖地震（M7.4・震度5）を機に
新耐震基準に移行

その後平成7年阪神淡路大震災・平成23年東日本大震災後
でも耐震基準の改正無し

鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造でも耐震基準同じなの？
→ **構造に関係なく同じです。**

昭和56年5月31日までに確認申請を受けた建物→耐震化助成の対象

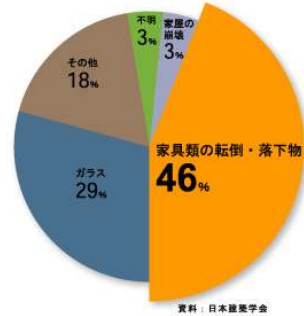
コンサルタント・耐震診断・耐震設計・耐震改修に助成金が出る

震災後の室内の様子

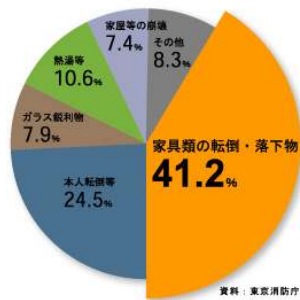


地震による人体への被害状況

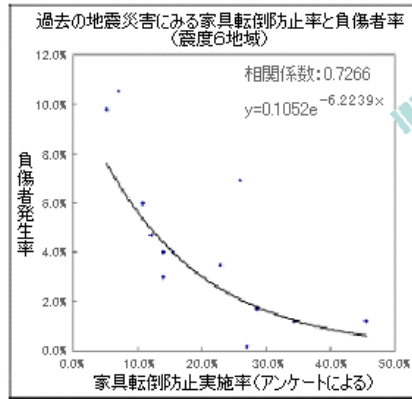
阪神・淡路大震災
内部被害による怪我の要因



新潟県中越地震における
人的被害に関する現地調査結果



家具の転倒を防止することで、怪我をする危険性が少なくなります



家具の転倒防止対策を実施することで
負傷者の発生率が減っている

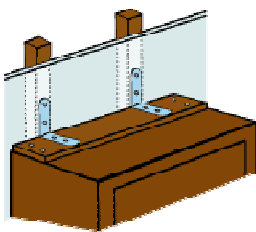
自分の身体を守るため、家族の命を守るために最も効果が高いのは、家具の転倒を防止する措置をすること



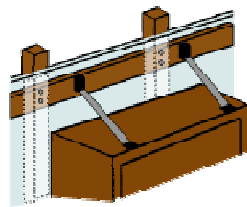
負傷者発生率: 負傷者が発生した市町村の全人口に占める全負傷者の割合
 家具転倒防止実施率: 地震直後のアンケート調査等で、家具転倒防止策を実施していると答えた世帯の割合

家具の転倒防止法と施工例①

L型金具：壁の棧（さん）と家具の棧をL型金具で固定する。
300円～1,000円程度。



L型金具による固定

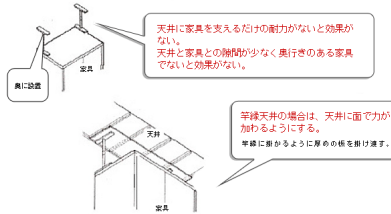


ベルト式による付け替居への固定

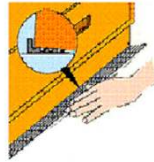


家具の転倒防止法と施工例②

ポール式：家具の両側の側板部に取り付ける。
5,000円～7,000円程度。

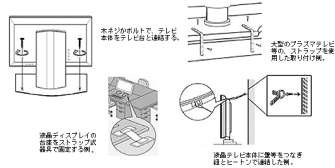


ストッパー式：家具の端から端まで設置する。
1,000円～2,000円程度。

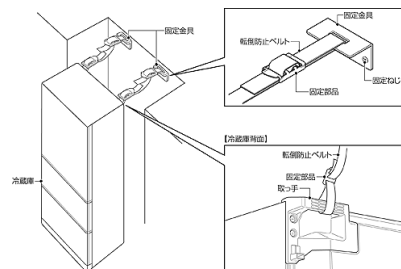


家電器具の転倒防止法と施工例

薄型テレビ（液晶、プラズマ）の固定方法



冷蔵庫の固定方法



家庭内の防災対策の参考例



ご清聴、ありがとうございました。

みま～もステーションもよろしく！

